

館藏	199	三	
	2	二	
	57	二	
一	九	三	一
册	號	架	函

一本  
49

國	文	學	叢
K110.7			
16.1			
第	一	冊	第

B 22

2681

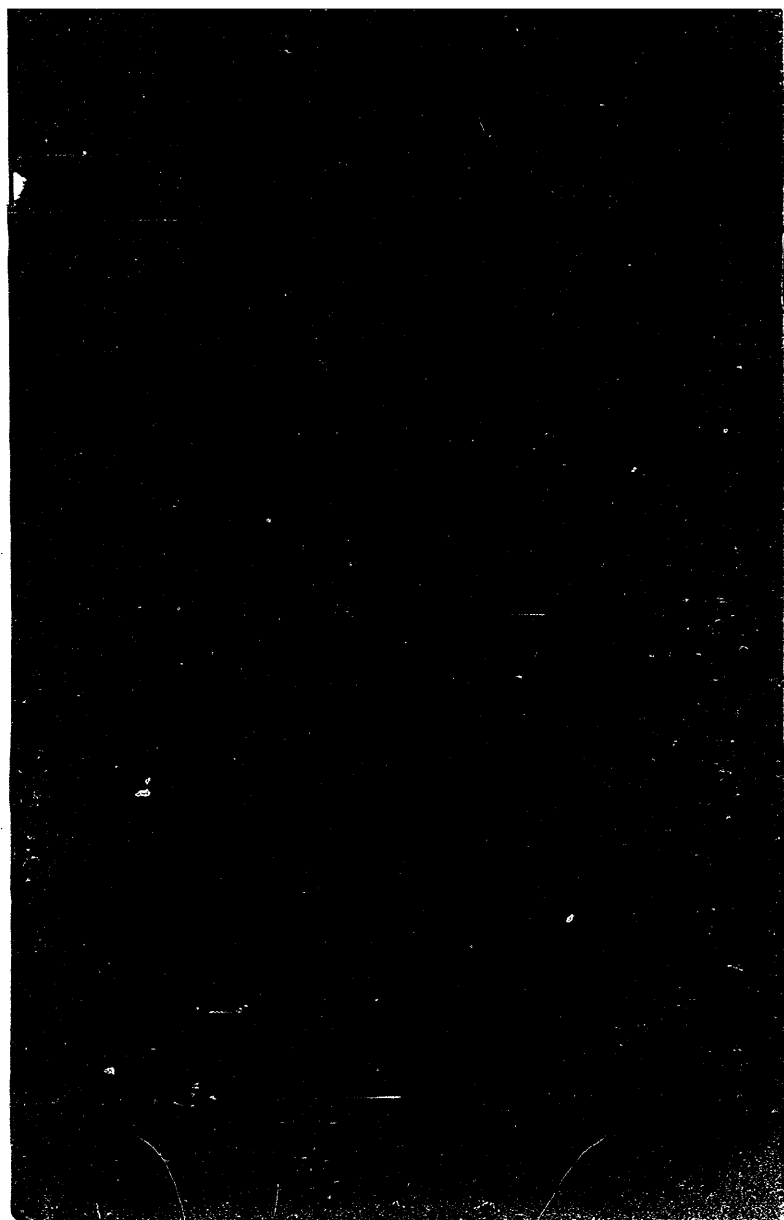


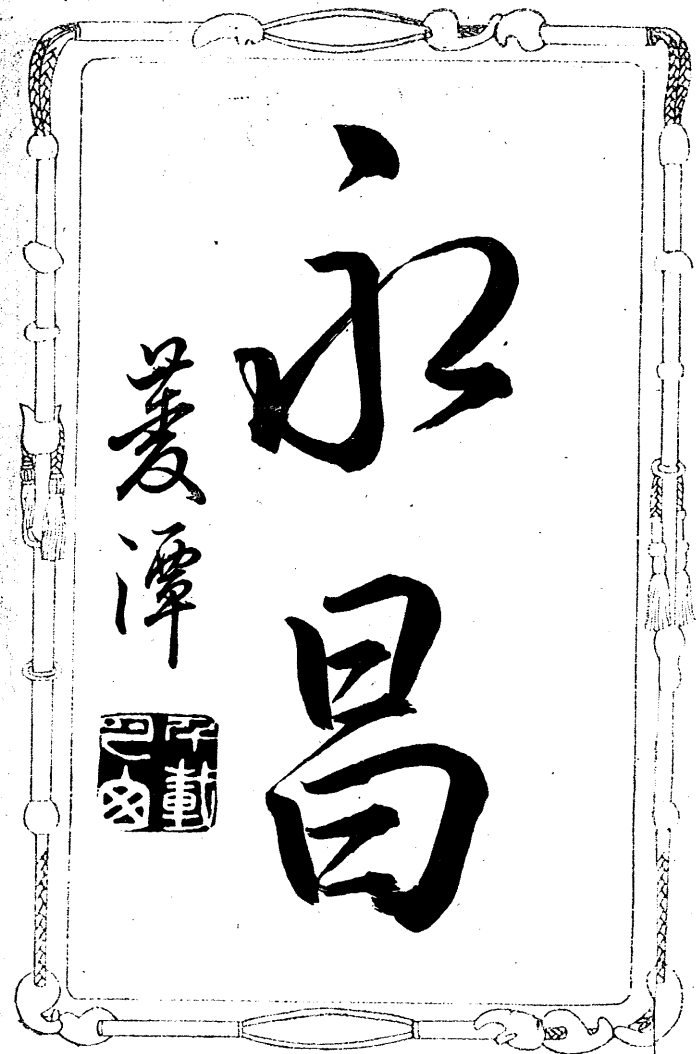
天祿



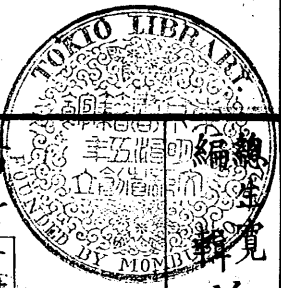
明治九年圖書局交付

三國亭





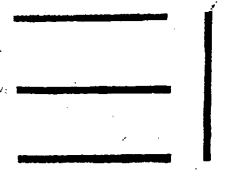
線面體圖解



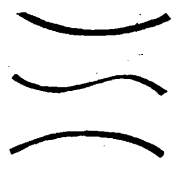
東書

一點と云ふ一點といふ  
幅も厚さも  
未  
者

右と直線と云線とい長  
さあり幅なれた者と  
稱を直とい曲らさるふ  
り此直線と縦横の二様  
あり

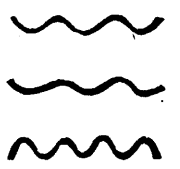


線面體圖解



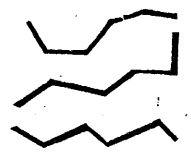
右と曲線と云曲と云曲

り撓る直なる者  
を稱す



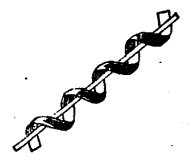
右と波線と云恰も波濤

形ちとなりたる故  
波と以て名く亦曲線の  
類あり



右と折線と云直線

曲り折るを角度と云  
相共し連り續きたる  
者と稱す



右と螺線と云其形ち

螺の殻形如く巻曲せ  
る故し稱す

右と縦線と云即ち直線

或る鉛直線と稱する

亦此類なり鉛の義ハ元

と線は先き鉛と繋ぎて

直垂と下げたる如き

稱す



右と横線と云即ち直

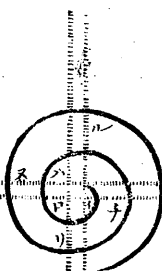
線は横ふる者なり又

平線と稱するもあ

なり



法



渦線と稱する是なり其形

ち恰も水は渦きたる如き故

に此名なり此圖と作るの法ハ

左に如し

①を心とし②より③より

規し④を心とし⑤より⑥

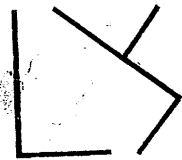
より規し⑦を心とし⑧より

⑨より規し⑩を心とし⑪より

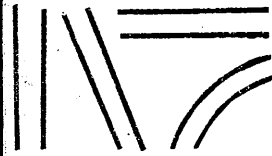
⑫より規するあり



右と斜線と云縦は非は  
横は斜は横は  
たる直線あり



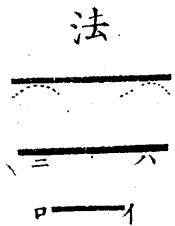
右と直角線と云直線二  
條双方より出合ひて直角  
と成る者を稱ひ



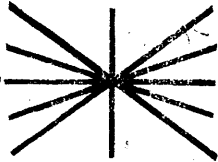
此等と並行線と云線の直曲は拘  
らざ一線は平行し合ひて直角  
を成る處ふく線の間同距離は並  
びたりと云三線より以上都て並行

線と

並行線を作る法



法  
（イ）の距離を以て六三より二弧  
を規して作るあり



右と聚交線と云直線數  
條相引く共一會して一點



右と直角と云二條の直  
線相會合して圓形と四分

1 合する者と稱す

あたる其一ふりそ九十  
度ふるまはたり



右と**鋭角**と云二條の直

線相會しと角度をなす

と雖も圓形と四分した

る處の一度九十度不足

らざらん云ふあり

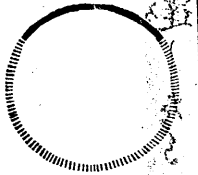


右と**鈍角**と云二條の直

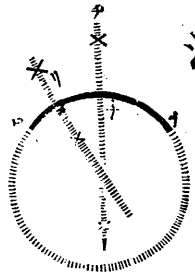
線相會しと角度をなす

圓形と四分したる所の一分

九十度不足るまはあり

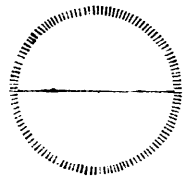
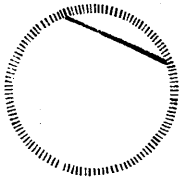


法

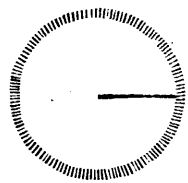


此を**弧**と云圓環周邊の一分を  
り弧は中心を求るの法左ふ示す

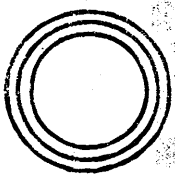
(イ)は切り違ひよ由て(ニ)線と  
得(イ)ふ由て(リ)線と得て會  
中心と得るなり



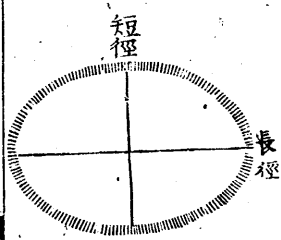
右と**絃**と云圓環の中心を離れ別一兩方の端と周圍の線に達したる所は直線あり



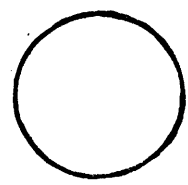
右を**半徑**と云圓環の中心と左うへへ周圍一端と右へ達したる一直線あり



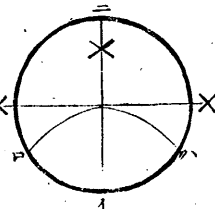
右と**同心環**と云同一中心と以て二環以上數個の環と規しるるも是あり



右と**直徑**と云一直線と以て中心より左右共ま周圍の兩方に達したるも是あり



右と**周邊**と云一線と以て一周へ環とふり中心より周圍に達する所の直徑は距離一様より差ひあたるなり



此**周邊**の中心を求むる法左よ示す  
周邊(イ)を心より口(ニ)を規し(口)の切違(イ)を(イ)の線と達し(イ)の

幾何学



右に長徑と短徑とり

楕圓の中心に於て直角

となり縦横の周邊へ達

したる長短は二線に

り此圖を以てまを

豎の直線と短徑と云

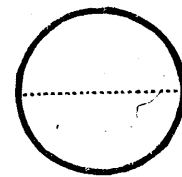
ひ横は直線と長徑と

なり

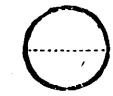
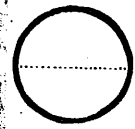
切違は因る(ホ)と得線

を達するなり

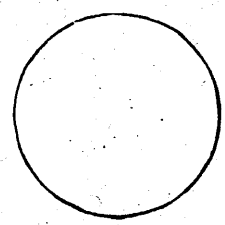
直徑一寸の環



直徑七分の環 直徑五分の環



周邊四寸の環

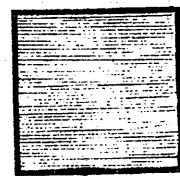


五分平方



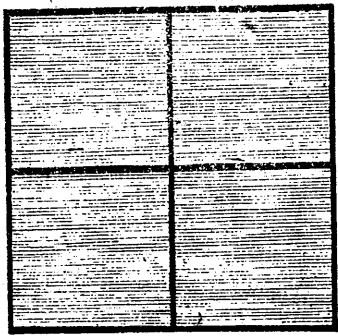
四方の面 各五分あり

一寸平方



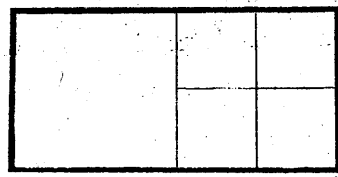
四方の面 何れも一寸の平面あり

二寸平方



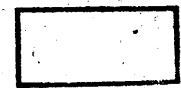
四方共各一面あり

二平方



横の面を堅すあり其寸を四方にふるめん

二分の一平方



一寸四分を折半する一分あり

一分の尺度

■ 十釐あり

一寸の尺度

一分の十倍あり  
百釐あり

三寸の尺度

二分の尺度

■ 二十釐あり  
二分の  
二倍あり

二寸の尺度

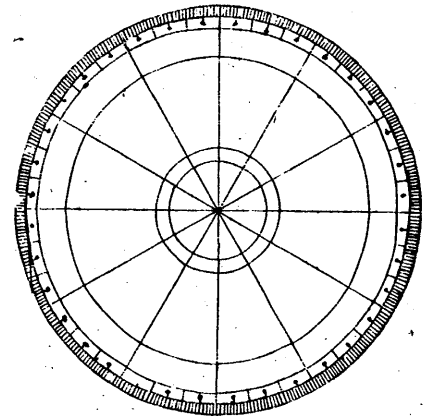
一寸の二倍あり

一寸の三  
倍あり

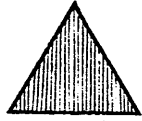
五分の尺度

■ 五十釐あり  
五分の  
五倍あり

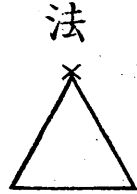
二百釐あり



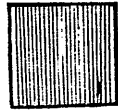
此環の度と云全周を三百六十度と別ち半周環一百八十度と其全周四分の一八九十度あり是を名つけて象限とす



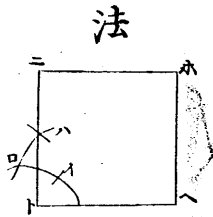
此と正三角とり長さ幅共三方同  
トキ者ふく平面的形あり一直線上  
等辺の三角を求る法左に示す



直線の尺度と以て両端より線上  
に規一會して(イ)を得る作るあり



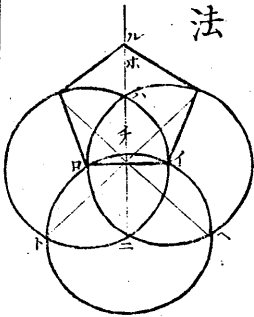
此を方形と云直角四個と合して  
四方共よ同じきものあり方形と  
作るの法左に示す



直線の二端に適宜の半環を規一三  
分一(イロ)と得中心(ハ)と求め(ト)よ  
り(ハ)と通一線と曳き(ト)の距離  
と以て(ニホ)を得るあり



此と五角と云五邊形より七等角等  
邊あり之を作るの法左に示す

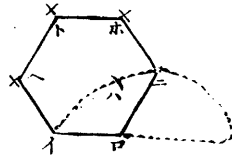


両端(イロ)より兩環を規一(ハニ)と得  
(ホ)線引き(三)と心と一規一を(ト)と得  
(ト)より(チ)と通一線と曳き(リ)と  
得(リ)より(ニ)と求め作るあり

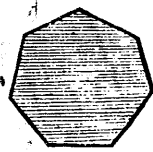


此と六角とり六邊形ふて等角等邊なるものあり之を作るの法左よ示す

法

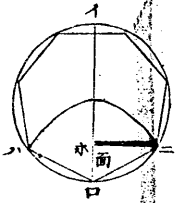


(o)を心として半環を規一三分一て(三)と得(三)より(ホ)と得(イ)より(ハ)より(ト)と得るあり



此は七角とり七邊形ふて等角等邊あり之を作るの法左よ示す

法

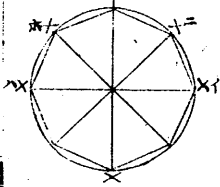


中心よ(イ)なる線と達(ロ)を心として(六)を規一(三)は距離と一面とあり作るあり

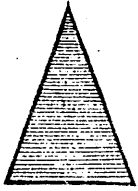


此を八角と云八邊形ふて等角等邊あり之を作るの法左よ示す

法



(イ)の中央(三)と求め(ロ)の中央(ホ)を求め中心と通し線と曳く作るあり



此を兩等邊三角形と云又正形と稱

ま三角ふして二邊等しき者あり

之と作るの法(イロより規)と得て作る

此を不等邊三角形と云又三斜と稱

は三角ふして三邊共み尺度の長

短同トわらざる者あり

此を勾股形と云一角ハ直角あり

三角ふして二角ハ銳角あるものと

名く又之と直三角と稱ま



此を長方形と云長短異なる方形よ

しと四個の直角と合したる者あり

又之と直形と稱ま



此を斜方形と云斜なる方形よ

して双方に向ひ合ふ所の線ハ等

したる者之と名く之を作るの法一

線は並行して對線を引くあり

此を不等邊斜方形と云方形よ

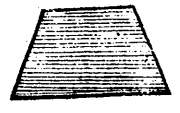
して四方共み尺度の長短異なるもの

を四斜形と稱ま

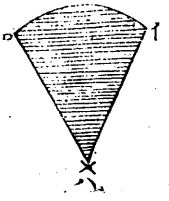




右と不等邊兩直角斜方形と云二邊ハ並行一直角二個と銳角一鈍角一を合せたるなり又之を半梯といふ



右と梯形と云左右の二線斜めハ並行せしめて等しく並行する所は上下の二線尺度同一らざる方形あり



右と一邊弧三角といふ三角より三邊の一方を弧形となすなりあり之を作るの法ハ(イ)より規より(ハ)を得て成る

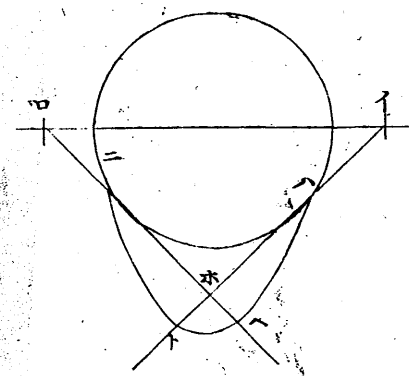


右と弧三角といふ三角と同一からきて三邊皆弧形となりたる平面形あり



此後卵形と云鳥卵の形に似たる  
平面形あり之と作るの法左に解  
り

法

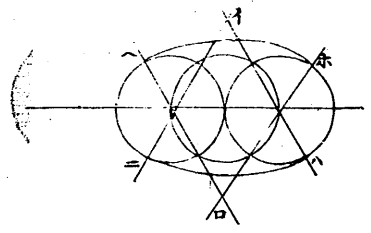


(イロ)より環小接して線  
を達して(ホ)を得(イロ)を  
心として(ハニ)より互に  
規(ホ)と心として(ヘ)よ  
り(ト)へ規するあり



此後楕圓と云長き圓形より  
左右上下は長短中心より規して  
同一うらざるあり之を作るの法

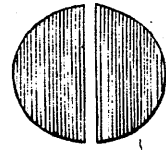
法



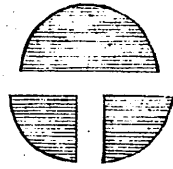
直線は心として三環と規し  
(イロハニ)の四線は達して(ロ)と心  
として(ヘ)より(ホ)より規して(イ)と  
心として(ハ)より(ニ)より規するあり



此後圓と云ふ圓形ふく平面  
なるもはあり



此と半圓と云圓形と兩分して  
直徑は所より離れを是あり

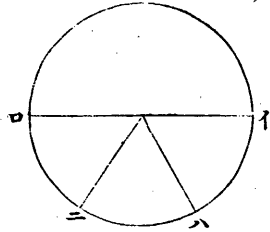


此と四分圓と云圓形を中心より  
四つに分けたる其一分を名く



此と六分圓と云圓形の中心より  
平等よ六分をたる其一分あり  
之と作るは法左よ示す

法

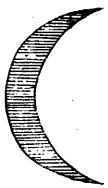


圓環と規一中心點よ因る(一)  
口は線と得圓環と規一たる  
距離と以る(二)と心とて(三)と  
得(口)と心とて(六)と得中心  
小會して分つなり

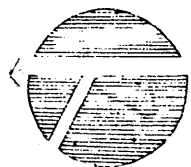




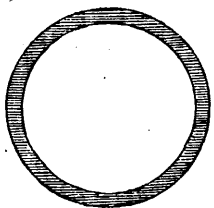
右を圓缺まがひとて直線ちきんを以て圓形まがひと隨意まがいに割りたる所は不等ふたふたなる一分と稱なづま



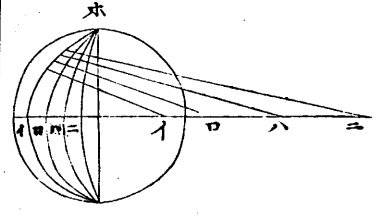
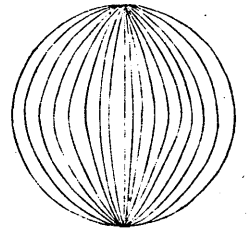
右を新月形しんげつがたとて三日月の形つきがたに似にたる故ゆゑに名なとす



右を扇形せんがたとて圓法まがひ中心より割りたる形かたちは恰おほも扇形地紙せんがたぢしの如ごとくなる故ゆゑに各おの々おの之のと作るつくるの法は六分圓むくちまがひの法はとて一ひと只ひと（口）と心こゝよりて（心）と截きらざるあり

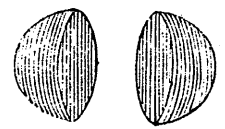


右を環わんとて周邊しゅうへんの幅はゆるまを稱なづまふあり

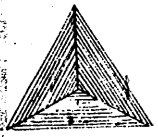


此を球又圓體と云ふ半圓の  
 直徑より規一たる線各相會し  
 旋廻せし形ちあり之を  
 作るの法左に示す  
 体との長さ幅さ厚さ共備  
 する者あり以下之に倣ひ  
 環の半徑を等分隨意に分ち各線  
 を(ホ)に達し各線の中央より正角  
 線と曳き會し(イロハ)と得(イ)と心と  
 (イ)と規(ロ)と心と(ロ)と規と

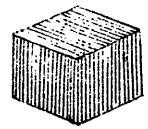
右を半球又半圓體と云  
 中心より左右平分し球と  
 割るなる形ちあり



右を球缺又盃形と云ふ  
 中心を通ずる球と  
 平坦より割るなる形ちあり



右と楕圓體と云楕圓は長徑と軸として旋回する形あり

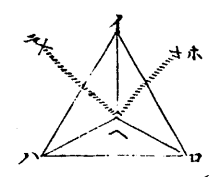


右と立方體と云又正方體と稱す四方上下七六方六面ふくむ正方形多者あり

右と三角柱と云又三稜體と云三方共長方形ふくむ相對して狭き二面三角あるものあり



右と四面體と云正三角より四面あるものと云之を作すの法左に示す



(イ)より規して(ニ)を得(ハ)より規して(ホ)を得(イ)より(ニ)線と達するあり

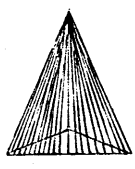
右と方柱と云又長方體と稱す四方共長方形より狭き二面相對する所方形あるものなり



右と圓柱又長圓體と稱す長方形の一邊を軸と



右は三角錐體と云又三稜尖體と稱す三面兩



12110-4,21

線面體圖解終

して旋回せる形ちあり



右と方錐體と云又四辨

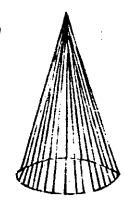
尖體と稱も四方兩等邊

三角ふくく底四角なる

あり

等邊三角形ふくく底の

処三角あるなり



右と圓錐體と云又尖圓

體と稱も直三角の直角

と被む一方と軸とく旋

回せる形ちあり

線面體圖解終

定價十錢

東京五大區二小區淺草西三筋町十三番地

編輯人 總生 寛

明治九年二月十四日

板權免許

東京書林 本石界二町目 江寫喜兵衛版